

議会だより

NO.24

吉野川市



「祭りの日」 大栗隆夫(鴨島町)

目次

代表・一般質問 ……………P 2	議案の審議から ……………P11
クイズ ……………P14	市民のページ ……………P15
市民の皆さんへの募集 ……………P16	

■ 発行／吉野川市議会
■ 住所／〒776-8611 徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1
■ TEL.(0883)22-2241

■ 編集／議会広報特別委員会
■ FAX.(0883)22-2242

2010.11.25

代表・一般

ここが聞きたい

質問

9月議会定例会では12名の議員が代表・一般質問を行いました。

●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

①枝澤幹太議員

- 市内公共施設の耐震化の進捗状況について
- 給食センターの進捗状況について
- 給食センターの給食内容で、地産地消の現状は
- 地域の特性を活かしたユニークな給食はできないのか

例えば農山漁村の体験をしながら生産の喜びを味わい、それが給食になるような

- 不登校児童の現状は
- 生活弱者（特に子ども）が社会的・経済的格差社会の犠牲者になっていないか
- はぐくみ支援は
- 障がいを持つ児童（特別支援学級整備）への取り組みは
- 所在不明の超高齢者について

②後藤田哲夫議員

- 都市計画区域の線引きと市街化整備について
- 環境整備について
- 高齢者の福祉対策について

③高木純議員

- 地域経済活性化の方策について
- 買い物難民への対策は

一般質問

④福岡正議員

- 行財政改革について
- 水道の漏水について

⑤榎納謙司議員

- 福祉について

- 教育について

- 観光行政について

- 環境について

⑥相原一永議員

- 安心と安全のまちづくり（市民の生命を守る施策について）

- 本市の過疎対策事業債の計画について

⑦兼原五男議員

- 行財政改革について
- 定住政策について

- 特産品ブランドについて

- 観光行政について

- 企業誘致について

- 迷惑空き地について

⑧川村洋樹議員

- 幼稚園、保育所及び小中学校の再編・統合について
- 各種助成金や国費・県費を活用した事業展開について

⑨田村修司議員

- 放課後児童クラブについて
- 吉野川市教育振興計画について

- 資源物について

⑩岸田秀樹議員

- 安全安心について

⑪岡田光男議員

- 民俗・歴史資料について
- 森林対策について

- 空き庁舎の利用について

⑫藤原一正議員

- 次代を担う子どもたちの教育環境について

代表質問

枝澤 幹 太 議員
(薫風会)

教育施設の耐震化の進捗状況は

(質問)

耐震化は平成24年度で完了予定

(答弁)

◎質問 平成15年12月に東南海、南海地震の対策推進地域に徳島県が指定され、企業・病院・学校の耐震化の必要性が迫られる中、本市の教育施設の耐震化の進捗状況を伺う。

の改修工事を実施している。今後は残り小学校7校、中学校2校の12棟について平成23・24年度に改修工事を実施し、耐震化率100%を達成する計画である。

[その他の質問]

◎質問 給食センターの進捗状況は。

◎答弁 用地は麻植郡農協と契約し、平成24年2月の完成予定である。

◎質問 給食の食材の地産地消の現状は。

◎質問 特別支援学級の整備は。

◎答弁 食材は市内の個人農家及び団体から購入。米は吉野川市産のキヌヒカリを麻植郡農協で購入している。

◎答弁 今後の教室環境整備については、子どもたちの実態に合わせ、学校と協議しながら検討したい。



都市計画区域の線引きと市街化整備について

(質問)

吉野川市都市計画マスタープランの中で検討したい

(答弁)

後藤田 哲 夫 議員
(麻植会)

◎質問 市街化区域内でも溢水・湛水による被害があるが、災害防止対策を最大限努力するべきでないか。

市街化区域及び調整区域の今後の取り組みについて、線引き導入して40年が経過し線引きの見直し及び用途地域の変更に取り組むべきと思うが、どのように考えているのか。

水路等の水質浄化が確認できたことから、中心市街地の旧下水路及び道路側溝の流末を雨水幹線に接続中であり、市街地の浸水被害が軽減できるものと考えている。

今後の取り組みについては、平成23年度から2か年を掛けて吉野川市都市計画マスタープランの策定を計画しているので、地域懇談会・公聴会等により住民の方々のご意見をいただきながら、本市のまちづくりの将来計画を策定したいと考えている。

※湛水 水田、ダムなどに水をいっぱい満たしたたえること。また、たたえた水。



高木 純 議員
(日本共産党)

地元経済活性化のための方策はとれないか

(質問)

市内業者育成推進要領も一つの工夫として協議したい

(答弁)

◎質問 長い不況で市民の暮らしが厳しくなっている。本市でも地元経済の活性化に向け取り組みべきと考える。

昨年の決算を見ると物品購入費などが約3億円あるが、昨年は地域活性化・経済危機対策の臨時交付金もあったので通年の約3倍になっている。ところが、この3億円の中の73%が市外の業者を通じて使われている。公正な競争入札などを経て結果的にこうなったと思うが、経済危機になって、地域の活性化を目的に国から交付された予算

が、市外の業者を通じて執行されたのは残念ではない。これでは市外業者のために予算を執行したようなことになる。

建設関係においては、公共工事の発注では、建設業を市の重要な産業と位置づけ、可能な限り市内業者を優先している。そのような観点で市の物品購入や業務委託でも必要ではないかと考える。佐賀県の唐津市においては「市内業者育成推進取扱要領」を定めて、公共工事に限らず物品の購入や業務委託を、特別なものを除いて、市内業者

を優先していこうと決めている。さらにこの要領の中には工事資材についても、可能な限り市内業者から購入するよう指導するとしている。このように徹底して市内業者育成を明確にしている。本市においても、公共工事に限らず、物品購入や業務委託も市内業者育成を明確に打ち出す。そのため工夫や努力をして行くべきと考え、そのために唐津市のような

「市内業者育成推進取扱要領」を作るべきではないかと思うかがか。

◎市長 市内業者育成も地域経済の活性化の方策として認識している。「市内業者育成推進取扱要領」も業者選定の工夫として協議したい。

【その他の質問】

◎質問 交通弱者のために、市の旧道沿いにコミュニティバスを走らせれば、

市内の大きな動脈線とつながると思うが。

スを運行している自治体もあるが、課題も多くあるので検討させていただきたい。

◎答弁 コミュニティバ

一般質問



福岡 正 議員

今後見込まれる地方交付税の減額措置と、本市の財政状況の展望及び行財政改革への取り組みについて

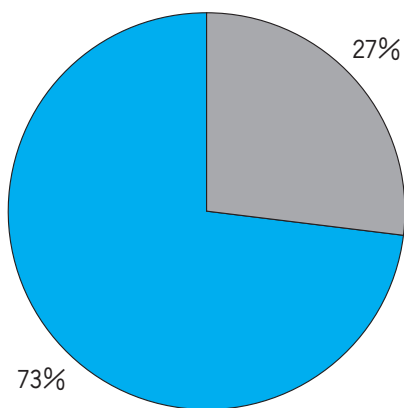
(質問)

メリット・デメリットを考慮しながら検討したい

(答弁)

◎質問 本市は合併後10年経過すると合併算定替えの恩恵がなくなり、地方交付税が減額されることになる。平成27年度以降5年間段階的に減額措置が続ぎ、平成32年度以

降は現在より12〜13億円少なくなる。今後の財政見直しには不安な要素もあるため、本市としては中・長期的な行財政運営に取り組む必要があるが、どのよう



平成21年度 地域活性化経済危機対策の臨時交付金を含む

に考えているのか。
また、特別会計への繰出金も多額となっている。特に下水道事業はつなぎ込みの促進に一層努力し、可能な限り繰出金を抑制すべきと考えるが。

○総務部長 本市の財政基盤は自主財源が乏しいため、国の地方財政計画など制度改正の影響を大きく受ける状況にある。

合併市町村への財政支援策である地方交付税の合併算定替えは、平成27年度からの5年間は激減緩和措置により段階的に減少し、平成32年度からは加算措置がなくなるため相当厳しい財政状況が予想される。

本市の将来を見据えた施策の推進のため、財源の重点的な配分を行う一方で、国・県の予算編成及び地方財政対策などの動向を見極め、事務事業の見直しや第2次行財政改革実施計画の着実な推進と経営感覚のある事業

の効率化など、可能な限りの歳入確保と徹底した経費節減・合理化に努めていく。

特別会計については、下水道事業への繰出金が一般会計に与える影響が非常に大きくなっている。

中・長期的な視点において繰出金の抑制を図ることは大変重要であるため、すでに整備済みの下水道へのつなぎ込みを推進し、収入を確保する一方で、公共下水道や合併処理浄化槽の処理施設を、地域の特性に合った、最も効率的で経済的な処理施設への見直しを行うなど、今まで以上に経営感覚を持った下水道事業の推進を行っていく必要があると考えている。

◎再問 第2次行財政改革実施計画は5年間の計画である。10年後、20年後も財政破綻を引き起こさないよう、有利な財政支援策がある間に継続可能な体力をつけなければ

ならないと考えるが。

○市長 経済情勢の先行きが不透明な中ではある

が、今後とも徹底した選択と集中を行い、責任ある市政運営を行っていき



榎 納 謙 司 議員

閉鎖された旧鴨島町の元ごみ処分場の利用は

(質問)

多目的緑地公園とする予定

(答弁)

◎質問 山路地区の農免道路沿にある、ごみ処分場が閉鎖され7年目になる。地域住民から、早く有効に使えるようにしてほしいとの声があるが、市としてはどのような計画を立てているのか伺う。

化学物質検査結果の値も基準内で安定しており、廃止手続きをとるために県と協議を進めたい。跡地利用については、地元と協議を重ねながら、廃止手続き終了後に周辺市有地と一体化して、住民の憩いの場所として多目的緑地公園とする予定である。

○環境局長 平成16年9月に適正閉鎖事業を完了し、跡地利用するため毎年検査を重ね、周辺地下水の水質検査結果、各種

【その他の質問】

◎質問 生活保護者の現状と、自立支援の指導を伺う。

○答弁 平成22年7月現在533世帯、751人、自立支援プログラムを導入し指導している。

◎質問 川島・山川庁舎の幼保一元化の協議内容を伺う。

○答弁 特に職員員の資質向上に力を入れ実施している。幼保再編・連携等推進会議で協議している。

◎質問 阿波踊り大会は職員挙げて取り組むべきと考えるが。

○答弁 多くの参加が得られるような市役所連をを目指す。



閉鎖された鴨島町のゴミ処分場跡地



相原 一 永 議員

美郷地区の過疎対策事業のビジョンは

(質問)

安全に安心して暮せる地域社会を目指したい

(答弁)

◎質問 過疎対策事業債に該当する地域に本市の美郷地域が入っている。本事業債の限度限は、人口と財政指数によって違い、美郷地区は3500万円です。本年度より6年間の措置となる。本年度の計画はヘルスランド美郷指定管理料800万円、美郷物産館指定管理料200万円、商工会振興事業補助金135万円、イベント事業225万円、美郷一周駅伝事業40万円、間伐対策事業660万円、治山事業443万円です。合計2528万円となっている。

半数以上の限界集落を

有する、過疎化が進んでいる美郷地区の地域振興と過疎化阻止のために出した計画であると思うが、どのようなビジョンを持って本計画を立てたのか伺う。

◎総務部長 豊かな自然環境の地域資源を生かした美しい景観の整備、地域文化の振興による風格ある地域社会の形成、地域間交流と定住の促進や起業の促進、高齢者の保健及び福祉の向上に取組み、安全に安心して暮せる地域社会を目指したい。

◎再問 本計画作成に当たり住民参加実現のため、各事業について徹底した情報公開や広報はしたのか。

◎総務部長 地元商工会を通じて要望をいただいた。

【その他の質問】

◎質問 消防水利施設は消防庁の勧告に沿って設

置されているか。

◎答弁 本市には1471か所の消防水利があるが、基準に適合しているのは71か所であり、基準に満たない水利箇所については使用可能か確認している。

◎質問 市営住宅の住宅用火災警報器の設置進捗状況は。

◎答弁 821戸中649戸が設置済みで残り172戸は平成23年5月31日までに設置したい。

◎質問 夜間の犯罪防止

のため、街路灯・防犯灯等の不良箇所の確認は。 ◎答弁 地元の要望を聞き対応している。



柴原 五 男 議員

行財政改革について

(質問)

今後の事業展開に生かしたい

(答弁)

◎質問 財政が厳しい中、市長は未来を担う子どもたちのために、給食センター建設や子宮頸がんワクチンの接種全額補助を打ち出している。市税の減収が続く中、単年度収支は赤字、公債比率も15%と前年より悪くなっている。他の自治体では事業仕分けを積極的に取り入れているが、本市の取組は。

◎総務部長 本市においては現在事務事業評価というものを実施している。今後、地域特性や独自性も十分考慮し、市民サービスへの影響にも配慮しながら、事業の方向性を示すとともにホームページで公表し、市民の皆様方からご意見をいただきながら、今後の事業展開に生かしていきたい。



ついては、統合が急務ではない基本計画のもと再編・一体化を進めるためには、部局横断的な組織を立ち上げ、市民と共に幼保一体化、小学校再編、こども園の整備を行うべきではないか。



徳島中央広域連合消防本部

住宅防火対策推進協議会・財団法人日本消防設備安全センター

「その他の質問」

究を進めていきたい。

○質問 火災警報器の設置事業について、積算根拠が誤っていた経緯を伺いたい。

○質問 定住・観光・交流人口を増やす手段は。

○答弁 補助制度から給付制度へ、ひとり暮らしの高齢者から複数の高齢者と、それぞれ改善・拡大を図ったときの過程で計算誤りがあった。

○答弁 ホームページなどICTを有効活用した情報発信ができるよう努めたい。

○質問 本市の定住促進事業への考え方を伺いたい。

○質問 ブランド認証した商品を開発・製造した業者への対応は。

○質問 本市の定住促進事業への考え方を伺いたい。

○答弁 認証業者の意欲向上に向けた啓発、商品のPRや販路の拡大に向けた取り組みを積極的に進めたい。

○答弁 奨励金制度の研究を進めたい。

○質問 企業誘致を積極的に進めたい。

○質問 観光イベントの成果と今後の課題は。

○答弁 県人会や県の出先機関などと連携し、企業と協議したい。

○答弁 観光イベントによる集客は平成22年度8万7500人と増加しており、自然や文化財等と連携した観光行政を目指したい。

○質問 雑草が伸び放題になっている迷惑空き地の対策は。

○質問 企業誘致を積極的に進めたい。

○答弁 市環境保全条例に基づき指導を徹底したい。



川村 洋樹 議員

幼稚園、保育所及び小・中学校の再編・統合について

(質問)

幼保再編は、国の動向を注視し、小・中学校の再編は、保護者・地域住民等と協議し検討する。

(答弁)

○質問 市立小・中学校の児童・生徒数は、過疎化や少子化の影響で減少

傾向で推移しているが「小規模校」の中でも特に児童数の少ない学校に

おいては、統合が急務ではないか。また、幼保一体化について、国では平成22年6月29日付の少子化社会対策会議で、こども園(仮称)に一体化すると方針が示されたが、本市ではこども園として整備していくのか。

○教育次長 小・中学校の再編について、関係部局と連携を図り、再編に向けた検討の準備を行う。

○教育次長 小・中学校の再編・統合は、学校施設の安全・安心を確保し、将来の学校施設のあり方や適正規模について、保護者や地域住民の方と共同に検討していく。幼保の再編は、再編に向けた課題について検討をしているが、今後も国の動向を注視し、再編に係る課題や施設の在り方を検討する。

○総務部理事 体制整備は必要と認識しており、部局と協議を行い検討する。

○再々問 幼稚園・保育所及び小・中学校の再編・統合について市長の考えは。

○再問 こども園の整備、小学校の再編を進めなければならぬ本市の現状において、幼保に限り本市が進めている一体化モデル事業ではなく、出来る限り地域格差がおこら

○市長 小・中学校の再編については、将来を担う子どもたちの育成のために教育環境を整え、学校の適正規模の確保、適正配置は重要と認識しており、保護者や地域住民の方々の意見を伺い検討

する。幼保一体化については、担当部局で検討をしている。

「その他の質問」

◎質問 緊急雇用創出事業

業などの有効な交付金を、もっと活用すべきでは。

○答弁 積極的な活用を呼びかけたい。



山瀬幼稚園



山川東保育所

抑止力は否定できない

(答弁)

ゴミの持ち去りに罰則規定を

(質問)



田村修司 議員

◎質問 本市では、資源物の持ち去り防止対策として条例をつくっているが、功を奏しているのか。また、「見つけたら環境センターに連絡を」と書いてあるが、何件の通報があったのか。連絡が入ったらそのことについて、持ち去りをしている方々に注意指導するとあるが、それは何件あったのか。同じ人に何度も指導しているというようなことはないのか。

○環境局長 通報件数は、平成21年度は48件、本年度は今までに38件。持ち去った時間や車両の特徴、車番等を聞き、データと

して蓄積し、警察に提出している。収集量の推移については、アルミ缶が平成19年度は46トン、平成20・21年度においてはそれぞれ27トンとなっている。また、新聞紙は平成19年度は750トン、平成20年度は463トン、平成21年度は284トンとなっている。

◎再問 市が税金を使って収集し、わずかでも市の収入となる資源ゴミが不当に持ち去られることについては、毅然とした態度で臨むべきであり、罰則規定を設けてもよいのではないか。全国で多くの自治体が罰則付の条

例を設けているし、徳島県でも初めて、藍住町において20万円以下の罰金を科すとした条例改正案が提出されるということである。本市ではどう考えているか。

○環境局長 現場では、持ち去り禁止の看板を掲げて、持ち去りはだめだと直接指導した場合もある。今年3月には軽トラックで古新聞の束を持



市のゴミ収集車

ち去ろうとしていた男を吉野川署が窃盗容疑で検挙した。市民からの通報を受けた本市職員が署に連絡し、連係プレーで取り押さえた。今後については、警察署とも相談しながら持ち去りをなくすよう努力をしていく。

「その他の質問」

◎質問 児童クラブで宿題指導、教科学習、読み書きの指導を取り入れることはできないのか。

○答弁 連絡協議会で議論をさせていただきたい。

◎質問 全国学力・学習状況調査の結果は。

○答弁 小・中学校とも

に国語、算数（数学）に
おいて全国平均、県平均
を上回っている。



岸田 秀樹 議員

末期ガンに対する要介護状 態区分認定の所要時間は、

(質問)

国の通達に基づき取り扱い マニュアルを作成した。

(答弁)

◎質問 平成22年4月30日に厚生労働省老健局老人保健課から、各都道府県介護保険担当課、各保

護状態区分の変更等を速やかに行うように」との通達が行っている。末期ガン患者に対して健康福祉部内の介護保険課では対応に約2週間の期間を要した。このような通知が出ていることを、担当部局員は把握しているのか。また今後このような問題に対してどのような方法で取り組んでいくのか伺いたい。

○健康福祉部長 介護認



定対象者に出来るだけ迅速にサービスが提供出来るように介護保険課で緊急時における取り扱いマニュアルを作成した。また中央広域連合福祉介護担当者会議においても至急審査対象者については調査票及び主治医の意見書の提出があり次第、直近の審査会にかけて審査を行うっていくとの回答が得られた。今後、介護認定申請時に受付日時の押印する事により事務の流れを明確化すると共に、マニュアルに基づき緊急時における速やかな事務処理の徹底を図っていききたい。

◎再問 介護認定対象者にサービスが提供出来るように介護保険課で緊急時における取り扱いマニュアルを作成したと言ふことだが、市長としてはそれをどのように位置づけているのか伺う。

○市長 担当部局で作成した取り扱いマニュアルを尊重し、緊急時に市民にとつて安心・安全な介護サービスが提供出来るように努めたい。

【その他の質問】

◎質問 台風の襲来が予想されるが防災局としての対応について。

○答弁 市民の安全を確保するための事前準備は出来ている。

◎質問 来年のごみ休日収集の予定は。

○答弁 ごみ休日収集については、5月の連休や夏場を実施する予定である。

◎質問 介護つき型の賃貸住宅建設の民間に対する支援は。

○答弁 介護つき型の賃貸住宅は市にとつても必要と思われるので検討していきたい。



岡田 光男 議員

歴史民俗資料の保管場所は

(質問)

空き施設を視野に入れ検討

(答弁)

◎質問 本市の総合計画には旧3町1村の貴重な歴史資料を保存・継承するために、その保管場所と活用について検討するとある。今年はその計画の最後の年でもあるが、現在、本市の歴史民俗資料にどのようなものがあ

るのか。また保管状況やどのように継承していくのか伺う。
○教育次長 古墳から出土した土器については鴨島町は鴨島公民館1階ロビーで、山川町は山川公民館で展示公開し、その

他旧3町の宝蔵地等から出土したかわらや土器等については山川庁舎書庫に保管している。

古民具は、鴨島町では地元から提供されたものを森山小学校、川島町は学島小学校、山川町は中枝小学校で保存し、また、川田山小学校で保存されていた手すき和紙製造用具を美郷ほたる館で展示公開をしている。

もこれから先あると思うが、どのような規模が適当なのか伺う。

○教育次長 財政状況から新規施設建設は困難と考える。今後、文化財保護審議会に意見を聞きながら、保存管理と活用ができる規模を視野に入れ、空き施設の活用など検討していきたい。

【その他の質問】

◎質問 地元産材を使用する住宅建設に支援は。

○答弁 県の施策や先進事例を参考にし、地元産材の活用が進むよう努力したい。



学島小学校に保管されている古民具



藤原一正 議員

市内の小・中学校の教室にエアコンが必要と思うが

(質問)

メリット・デメリットを考慮しながら検討したい

(答弁)

ト・デメリットを考慮しながら検討したいと考えている。

ては快適に過ごせるような環境づくりをする考えはないのか伺う。

◎再問 ある学校では、猛暑日は風がなければ大変であると言っている。教育委員会として全ての学校で緑のカーテン等を実践しているのであれば説得力はあるが、そうではない。

○教育長 学校現場からは、エアコンがあればそれにこしたことがないと言っている。少なくとも特別支援学級にだけは設置してほしいという要望が多いので、設置に向けて進めていきたいと考えている。全ての教室に設置するというのは、今後の検討課題とする。

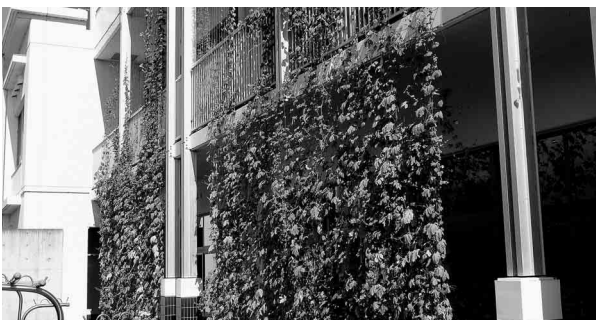
◎質問 新聞記事によると、勉強に集中できる温度は25度から28度とされており、文部科学省の基準では30度以下が望ましいとも言われている。本市の小・中学校の児童生徒は、今年のような猛暑の中、勉強に集中できるのか伺う。

外で遊ばない子ども達が増え、体力の低下に繋がっているとわれ、徳島県の児童生徒の体力は全国で最下位という深刻な状況にある。

体力は暑さや寒さに負けず、外で活動することにより養われると言われ、自然の環境変化に対応し、たくましく生き抜いていく子ども達を育成していきたいと考えている。

また、体調管理の面でエアコンの効いた部屋と外気温との差が激しいため体温調整ができなくなる恐れもある。

以上のことからメリッ



エアコンと緑のカーテン

○教育次長 この猛暑の中で集中力を保ち、学習に取り組むのは非常に難しいと考える。最近ではほとんどの家庭にエアコンが設置され、快適な環境の中で子ども達は過ごしている、その結果、

平成22年9月議会定例会

議案の審議から

日程：平成22年8月30日～9月17日

9月定例会では、条例関係案3件、予算案8件、決算案11件、専決関係案1件、その他10件が提案され、原案どおり可決・承認されました。

文教厚生常任委員会

▼平成22年度吉野川市一般会計補正予算 第1号について

質問 子宮頸ガンワクチンは集団接種が良いと考えるが、接種の方法を伺う。

答弁 接種は任意で行い、集団接種ではなく、県下広域の指定医療機関で接種できる形をとった。

また、今年度中に2回の接種を行い、3回目の接種は来年度に予算措置を行い、時期は9月末までを予定している。

▼吉野川市総合スポーツ運動場条例等の一部を改正する条例制定について

質問 山川テニスコートを中学生が優先的に使用できるように配慮する考えはないのか。また、夜間照明施設を設置する考えはないのか。

答弁 あくまでも社会体育施設として位置づけているが、中学生の部活動には配慮する。現時点で

は夜間照明施設の整備は考えていない。

質問 今回の条例改正でテニスコートの使用料が2倍になる。「負担の公平性」と言うことだが何と比較しての公平性なのか。

答弁 合併時に市内には4か所のテニスコートがあったが、料金調整ができていなかった。改修計画が決まっていなかったことも理由の一つである。今回、改修や新設工事が行われるにあたり、市内すべてのテニスコートがオムニコート化されるため料金統一を図るものである。



新しくなった森藤テニスコート

近隣自治体の料金と比較して最低ラインにあわせている。

◇以上異議なしで可と決定

産業建設常任委員会

▼平成22年度吉野川市一般会計補正予算 第1号について

質問 商工業振興費で中心市街地における観光資源等開発事業委託料とあるが、専門業者に委託するのか。

答弁 委託先は、まちづくりを研究している鴨島町商店街連合協同組合、鴨島町のこと、中心市街地のことを良く知っているため、そこに委託しようと考えている。

質問 川島農産市はどこにできるのか。

答弁 JA麻植郡川島支所の敷地内で、JAガソリンスタンドの東側にできる。

質問 木造住宅耐震診断戸別訪問推進事業はどのようなことをするのか。



川島農産市 予定地付近

答弁 市内全域を対象に市内を数区域に分け、1つの区域を一週間かけて戸別訪問し、耐震診断や耐震工事の説明等を行う。

質問 観光費で雇用する2名の臨時職員は、どこに配置するのか。

答弁 基本的には川島城を拠点とした観光業務に充て、補助的な勤務として上桜温泉・鴨の湯を考えている。

▼平成22年度吉野川市簡易水道事業特別会計補正予算 第1号について

質問 手数料の中で、用地調査との説明であるが、何の調査なのか。

答弁 美郷地区の簡易水

道は配水池が高い場所にあり、給水している家が高い場所、低い場所とさまざまである。

今年度種野地区の区域整備工事で、水圧を調整するポンプ設置を予定しており、設置場所の調査費を計上している。

◇以上異議なしで可と決定

総務常任委員会

▼平成22年度吉野川市国民健康保険特別会計補正予算 第1号について

質問 当初予算では財政調整基金を全額取り崩しており、国保会計は非常に厳しい運営状況であることが伺える。

国民健康保険会計は、被保険者からの保険税及び公費による負担金によって賄われる独立採算制が基本と考える。一般会計からの繰入金が多くなっているが伺う。

答弁 過去5年間の単年度収支は、毎年平均1億3千万円程度の赤字が続

いており、この補填財源として繰越金を充当してきた経緯がある。

本年度の当初予算編成にあたり、財政調整基金を全額繰り入れしており、今回の補正財源は一般会計から繰入金をお願いすることとなった。

来年度以降の財源確保は、全く目途が立たない非常に厳しい状態である。

質問 平成23年度以降の財源不足はどの程度と見込んでいるのか。また、財政状況悪化の原因と今後の対策について伺う。

答弁 平成20年度に創設された後期高齢者医療制度により発生した保険税収入と医療費との差額が、大きな要因であると考え

る。また、今後の対策については、現在、国では国保制度・後期高齢者医療制度の見直しを行っており、制度改正の動きを注視しながら、当面の財源不足対策として、保険税の改訂と一般会計からの

繰入を併用した案を、財政局並びに国保運営協議会と協議し、議会に提案させていただきたい。

質問 現在の社会情勢下では国保財政の悪化はやむを得ないが、保険税を上げるにあたっては、収納率の向上はもとより、保健事業の充実や後発医薬品の利用推進などに努力し、最小限度の上げ幅にとどめてもらいたい。

また、国保財政健全化のためには、被保険者には応分の負担をお願いしなければならぬが、急激な引き上げは避けなければならぬ。

一般会計からの繰入が必要と考えるが、市はどのように考えているのか。

答弁 国保会計は特別会計であるため、制度的な部分を一般会計が負担し、なおかつ赤字になる場合は、被保険者に負担していただくことが原則であること認識している。しかし平成23年度以降は多額の財源不足となる

平成22年度国民健康保険税

●税率等について

	所得割	資産割	均等割	平等割	最高限度額
医療分	7.25%	32.2%	18,200円	20,800円	500,000円
後期高齢者支援金分	2.55%	7.8%	6,800円	5,200円	130,000円
介護分	1.12%	6.5%	4,500円	6,000円	100,000円

したうえで12月議会では例改正案を提案させていただきたい。

▼吉野川市美郷区域過疎地域自立促進計画について

質問 この計画については、8月の段階で計画しなければならぬとのことであるが、計画の進捗管理や評価、計画の変更等について、どのように考えているのか。

答弁 進捗管理は毎年事業年度終了後、進捗状況を確認したいと考えている。

この計画は6年間であるため、社会情勢の変化を考慮し、地域の皆様にご意見を伺いながら、県や総務省との協議を踏まえ、議会にも提案させていただきたい。

◇以上異議なしで可と決定

庁舎統合特別委員会

本委員会は、庁舎統合についての審査を6回にわたりに行ってきた。

審査の結果、用地取得は、建設用地及び進入路用地の合計で1万1700平方メートルを購入すること。増築棟建設位置は、既存庁舎東側に建設することとし、理事者から示された増築棟基本設計検討案を基に、実施設計では、事業費をできるかぎり抑えながら、限られた条件の中で、来庁者の利便性を最大限考慮し、効率的な建設計画を進めていく事とした。

今後は常任委員会に審査を委ね、本委員会の審査を終了することになった。

意見書

▼地方財政の充実・強化を求める意見書

◇異議なしで可決

提出者 北川 麦議員

税等の未収金問題で議論

平成21年度 決算特別委員会

▼平成21年度吉野川市一般会計歳入歳出決算認定について

質問 住宅新築資金等貸付金元利収入の収入未済額1億3533万4706円は、いっこうに改善されていない。明らかに資産があるところからは裁判等をして徴収するべきだと考えるが。

答弁 昨年からは時効を阻止するために、個々の案件についてどのような徴収方法が良いのか、弁護士との相談を密にしながら進めている。法的な部分については書類を作成しているのご理解をいただきたい。

質問 税金や使用料をきちんと納めている人がいるのに、借りただけのお金を持っているのに返さない人もいる場合には、毅然とした態度をとるべきと考える。そうしないと市民に申し訳ないと思うが、市長としてどうするのか。

答弁 先に説明したよう

な法的な形で進めたい。

質問 弁護士と相談というのは、訴訟に向けての準備をするのか。

答弁 最終的にはそのような方向で弁護士と相談している。

時効が迫っており、時効にならないように法的な手段も考えているので、しばらくお待ちいただきたい。

質問 不納欠損額が3100万円程度ある。

担当部署は不納欠損にならないようにどのような努力をしているのか。また、やむを得ず不納欠損で落とす理由について伺う。

答弁 税務課に関する不納欠損の状況についてであるが、居所不明者及び住所移転を繰り返している者については、戸籍・住民票の異動等で追跡調査し、何回も郵便物を送付している。

また、生活困窮者については、その中に不動産等の所有者もいるが、土

地の評価額の下落により、抵当権を設定した場合に抵当割れを起こしている物件もあり、預金等の調査をして、3か月程度の預金の動きをみながら最低限度の生活が保障ができる者には、呼び出しや滞納整理機構への移管等の通知を送付し、差し押さえをやっていきたいと考えている。

答弁 住宅使用料の不納欠損については、平成21年度の段階で、平成20年からの滞納繰越額は約7000万円あり、その内681万6680円を不納欠損処理した。住宅家賃については民

あるのか伺う。

答弁 住民からの通報による車両ナンバーで想像すると、組織的に持ち去られていると考える。

質問 組織的な犯行と認識しているのであればならば被疑者不詳でも積極的



に刑事告発する態度を吉野川市が示さなければならぬと考えるが。

答弁 告訴をすれば市としての体面は保てると思うが、警察との連携という部分になると、今までは微罪という状況になっているので、実績を積み上げた段階で行う必要があると考えている。直ちにというのではなく、警察と協議しながら今の状態がどのようになるのかを踏まえたいと考えていく必要がある。

質問 警察の内部事情を吉野川市が考慮して、被害が起こっているのに告発できないという事を市民に説明するのか。

答弁 今ほどのように防いでいくかという、行政だけの努力ではなく、警察や市民の協力をいたしたいうえで処理を進めていくのが適切という判断をしている。

委員が言っていることも踏まえたいので、議論しているので、ご協力をお願いしたい。

業特別会計歳入歳出決算認定について

▼平成21年度吉野川市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について

質問 この特別会計はいつまで続くのか伺う。

答弁 老人保健特別会計については平成20年度で終わりましたが、診療報酬支払い期限は平成22年度までとなっており、次年度からはありません。

▼平成21年度吉野川市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

質問 不納欠損額約350万円について、これまでどのような徴収の努力をしてきたのか、また、行方不明についても伺う。

答弁 徴収については徴収月間等で努力をしており、また、コンビニで支払いができるようにもしている。

平成23年度からは上下水道の一体徴収を行い、最終的には徴収業務の民間委託を考えている。

▼平成21年度吉野川市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

業特別会計歳入歳出決算認定について

質問 平成21年度の供用開始戸数、つなぎ込んだ戸数は。

答弁 川田処理区では、供用開始が46戸の増、その内、36戸が接続。川島処理区では、供用開始が35戸の増、その内、23戸が接続。

▼平成21年度吉野川市水道事業会計歳入歳出決算認定について

質問 当年度分損益勘定留保資金5千755万4906円を補填したとあり、やがては水道料金の値上げに繋がるような非常に悪い決算報告になっていると思われる。今後どのように対応していくのか詳しく説明を伺う。

答弁 今後の対応については、水道ビジョンに沿って経営を進めていき、営業費用の縮減や建設コストの抑制に努力していきたい。

◇以上異議なしで可と認定

クイズ

問題 《スポーツ人数クイズ》

1チームの人数は何人でしょうか？
例 野球 9名

第1問 サッカー

第2問 バasketボール

第3問 ラグビー

第4問 アイスホッケー

◎正解者の中から抽選で10名様に記念品を進呈します。

◎応募要領／はがき、またはファックスに答えて住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。

応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか？

次号で紹介します。

◎送り先／〒776-8611
吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL0883-22-2241
FAX0883-22-2242
◎締め切り日／平成23年1月11日（消印有効）

チョットひと言

☆久しぶりに数字と戦いました。脳の活性化になりました。

☆数に弱い私ですが、今回はすぐ解きました。
これを機会に数独にも挑戦してみようと思います。

（鴨島町 森さま）

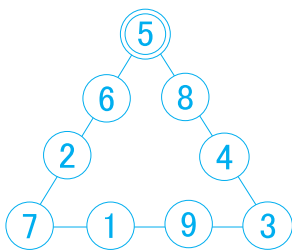
☆「あとがき」の吉野川市指定有形文化財は史跡とかに興味がありましたので、大変面白く読みました。一度訪ねてみようと思っております。

先日は川島町にお城が2つあると教えてもらったり身近なところにも、いろいろめずらしいものがあるんですね。

（山川町 横田さま）

☆吉野川市には時々伺いますが、美味しいお店がたくさんあり、昼食に合わせて車を走らせます。
（高松市 寺上さま）

（前回の解答） 5 【応募総数】 72通



市民のページ

古希の同級生

鴨島町 近藤 明美

今年の夏は暑かった。日本一暑い所で知られる美濃焼の産地多治見は、私の古里です。

「やっとかめやのう、達者やったかな？」との

出合いの挨拶から始まって、涼しくなった10月3日中学の同窓会が開かれました。私も例年通り今年も行ってきました。古希を迎えた同級生78名の集合です。

同級生は全員で275名でしたが古希ともなれば消息不明、黄泉の世界へ誘われた人等が2割あり級友の輪が少しずつ小さくなっていきます。それに反比例するかのよう同窓会は年を追う毎に盛会になり、全国から帰省して今年も19回目。本日に絆は深く続きます。想い出話に花が咲き、

子ども時代に戻って落ちこぼれも優等生も垣根はなく肩を抱き、手を握り一年振りの逢瀬を楽しむ

光景を毎年繰返し楽しんでいます。

戦後、子どもの数はおびただしい程の人数で1クラスは50人以上、粗末な校舎、運動場も小学校と共有で不自由な時代だったのに楽しい思い出ばかりの時代でした。

会えば必ず「ちゃん」「くん」当時の呼び名で会話は弾みますが、最近「元気でいこうね」等、話の終わりは完全に老人です。私にとって同窓会の魅力を問われても返事に困りますが、徳島から何時も間も掛けて幼なじみに会え元気な姿を見るのが最大の喜び。

おひねりの投げ銭が飛び交い最高の盛り上がりでした。

同窓会は来年はおろか、米寿、傘寿まで続けると意気込んでいます。その頃は誰が幹事をするのでしょうか。

いつまでも元気な顔を見たいものです。最初の「やっとかめやのう、達者やったかな？」は、多治見弁の「久し振りだったね。元気だった？」の挨拶です。

ふるさと探訪

大塚城炎上 ― 蛭姫の悲恋 ―

山川町 原田 親光

九月の終わり愛犬と堤防を散歩した。吉野川と川田川の合流地点はうっそうとした草々が道を隠す。犬は平気ですすいと歩く。ときどき振り返り「早くおいで」と気づかしてくる。季節外れの一匹の蛭が妖しい光を放ち横切った。

その途端、犬と私は窪地に転落した。したたかに打った腰をさすると前

かれていたのだ。蛭姫は艶やかで婉であった。

その中の一人西国の若殿とはひそかに相思相愛の間柄になり今日は縁組だったのである。二人は将来を語りそのよるこびにひたっていたのだ。供

の者もその準備に忙しく働いていた。だが、戦国の世は余りにも儚なかつた。縁結びも戦略のひとつでいつ敵味方になるかわからない。

場面は一変し炎に包まれる大塚城は蛭姫の身も危うくなった。同盟は破られ攻められたのである。勇ましく防戦した蛭姫も「早く奥へ」。供に促され二階に上った。そこは

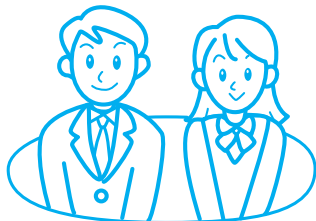
若君と未来を誓い合った部屋だった。やがて、窓から炎が流れ蛭火となって空に舞った。

隣国の若君も開戦で苦悶していた。「女らしい」と幽閉されていた。蛭姫の身を案じていたが死を知り自らの命を絶った。

蛭火となって東へ向かって西空へ飛んだ。西国での安楽を願うのであろう。蛭の光が消え、我に返った。静寂は私の背に冷気を走らせた。世の非情の無言劇は秋の夜長の夢だったのだ。この地に吉野川市は蛭を育てる「川際公園」をつくった。

若者は楽器を奏でている。

本会議・委員会の傍聴をしませんか



皆さんが選んだ議員の活動や行政が今、どのようなことを行っているかを知っていただくために、本会議などの議会の傍聴をしませんか。

どなたでも傍聴できます。

お気軽にお越しください。

TEL 22-2241

募 集 要 項

- テーマ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など。
- 規定** モノクロ及びカラープリント2L判～四切・W四切組写真も可（3点まで）住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 締め切り** 平成23年1月11日（消印有効）
発行は2月です。季節感のあるものをお願いします。
- その他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用及びトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応募先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL(0883) 22 - 2241
FAX(0883) 22 - 2242

募

集

表紙の写真

市民の皆さんの
声を掲載

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。ファックスでも結構です。

！！規定！！

- 400字詰原稿用紙2枚以内
 - 住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記
 - 締め切り
平成23年1月11日（消印有効）
- * 投稿多数等で掲載できない場合は、ご容赦ください。校正等は、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

！！あて先！！

〒776-8611
吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

あとかぎ

高越山を活用した

地域づくり

高越山は阿波富士と称され、山川町の歴史・産業・文化に大変関わりの深い山であります。

山川町商工会ではこの資源を山川町活性化策のシンボルとして位置づけ、「山川こうつウォーク」を足掛かりとして地域の魅力を広く発信し、今後持続的な地

域振興事業を展開する計画であります。

近年健康志向の高まりからウォーキング人口の増加は勿論、登山に対する注目が上昇しています。

高越山は登山家にとって多くの魅力を持つ山であり、歴史・文化との融合（知的経験）効果により、知名度を飛躍的に向上させられる要素を含んでいます。

商工会では、一過性のイベント事業としてではなく、将来的に登山グループへの有料案内制度を設けたり、宿泊や物産販売・糖尿病患者向けの食品開発を行うなど、地域産業への総合的な経済波及効果を目指すと共に、山川こうつウォーク実施効果による地域への持続的な賑わい創出効果を見込んでいます。

塩田 吉男



山川こうつウォーク